

指定管理者総合評価シート

(評価対象期間 平成25年4月1日～平成29年3月31日)

1 基本情報

施設名称	下田農業ふれあい館（千葉市下田都市農業交流センター）
条例上の設置目的	都市部と農村部の交流を図るとともに、農業を振興することにより、地域の活性化に寄与することを目的とする。
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	—
ミッション （施設の社会的使命や役割）	—
制度導入により見込まれる効果	—
指定管理者名	下田ふれあい交流施設館管理運営組合
構成団体 （共同事業体の場合）	
指定期間	平成25年4月1日～平成30年3月31日（5年）
所管課	経済農政局農政部農政センター農業経営支援課

2 成果指標等の推移

（1）利用者数（人）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	合計
実績値	76,525	74,633	71,063	71,258	293,479
数値目標※	80,000	80,000	80,000	80,000	320,000
達成率	95.7%	93.3%	88.8%	89.1%	91.7%

（2）－（成果指標2）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	合計
実績値	—	—	—	—	—
数値目標※	—	—	—	—	—
達成率	—	—	—	—	—

（3）成果指標以外の利用状況を示す指標

指 標	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	合計
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

3 収支状況の推移

(単位：千円)

				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	合計
必須業務	収入	指定管理料	実績	8, 296	8, 535	8, 979	8, 979	34, 789
			計画	8, 296	8, 535	8, 979	8, 979	34, 789
		利用料金	実績	—	—	—	—	—
			計画	—	—	—	—	—
		その他	実績	—	—	—	153	153
			計画	—	—	—	0	0
		合 計	実績	8, 296	8, 535	8, 979	9, 132	34, 942
			計画	8, 296	8, 535	8, 979	8, 979	34, 789
		支 出	実績	8, 398	7, 941	8, 041	8, 912	33, 292
			計画	8, 296	8, 535	8, 979	8, 979	34, 789
収 支		実績	△ 102	594	938	220	1, 650	
自主事業	収 入	実績	99, 131	92, 684	92, 082	94, 162	378, 059	
		計画	103, 232	103, 741	95, 791	95, 850	398, 614	
	支 出	実績	99, 871	92, 424	93, 460	95, 551	381, 306	
		計画	103, 228	103, 740	95, 711	95, 811	398, 490	
	収 支	実績	△ 740	260	△ 1, 378	△ 1, 389	△ 3, 247	
総収入		実績	107, 427	101, 219	101, 061	103, 294	413, 001	
総支出		実績	108, 269	100, 365	101, 501	104, 463	414, 598	
総収支		実績	△ 842	854	△ 440	△ 1, 169	△ 1, 597	
利益の還元額		実績	—	—	—	—	—	
利益還元の内容								

4 管理運営状況の総合評価

評価項目	評 価	評価の具体的内容・理由
1 成果指標の目標達成	C	概ね成果目標を達成している。
2 市の施設管理経費縮減への寄与	C	計画額が提案額の10%以上減少しているが、年度ごとに社会経済情勢等を鑑み減額した額で運営したため。
3 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	関係法令を遵守し運営されている。また、緊急時の連絡体制等が整えられている。
4 施設管理能力		
(1) 人的組織体制の充実	C	管理運営の執行体制等について、事業計画どおり行われている。
(2) 施設の維持管理業務	C	適正に、施設の保守管理、設備・備品の管理、清掃、警備が実施されている。
5 施設の効用の発揮		
(1) 幅広い施設利用の確保	C	開館時間等について事業計画どおりに行われている。また、施設外での直売やホームページ、ツイッターにより施設のPRが行われている。
(2) 利用者サービスの充実	C	アンケート結果に基づき、利用者サービスの充実に努めている。
(3) 施設における事業の実施	C	農産物直売所やレストラン等の自主事業が行われ、都市部と農村部の交流が図られている。
6 その他 (市内業者の育成、市内雇用の配慮、障害者雇用の確保、施設職員の雇用の安定化への配慮)	C	障害者雇用はないが、積極的に市内業者への発注、市内在住者の雇用が行われている。

総合 評価	C
----------	---

【評価の内容】

- A：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
B：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。
C：概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
D：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。
E：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

5 総合評価を踏まえた検討

(1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

(上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因)

・利用人数は目標に届かなかったが、事業計画どおりに施設管理を行ったことに加え、地元農産物の直売、地元農産物を使用したレストランの運営、収穫体験などの自主事業において都市部と農村部の交流や農業の振興により地域の活性化が図られたため。

(2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

・自主事業が赤字であることから、現在の地元の活力を生かした管理運営に加え、新たに他の民間企業との連携を図ることも検討し、赤字を解消していく必要がある。
・当該施設は地元住民により組織された組合によって管理運営されているが、農村地域の高齢化に伴い、後継者不足となっていることから、組合員の人材確保が必要である。

(3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	施設管理手法の見直しを検討する。
	既に施設管理手法の見直しを決定している。

(4) 経済農政局指定管理者選定評価委員会の意見

これまでの意見を踏まえ、さらなる利用者ニーズの把握を行い、利用者増につなげるよう努められたい。